

前期議員研修（7人）…………… 議会活性化

町民の議会参加の間口を広げる

平成28年7月26日から27日



箱根町議会の託児室

神奈川県箱根町において、議会改革、議会活性化と観光行政について研修を行った。

「開かれた議会」への取り組みは、情報発信ツールとして広報誌の他、ポスター、ホームページ、メールマガジン、フェイスブックなどを利用。

議会傍聴では、児童・乳幼児同伴の傍聴を可能にするため、託児室や授乳室の設置や、スマートフォン、タブレット端末の持ち込み自由、写真撮影や録音が可能、詳しい資料の貸し出しなど本町議会においても検討に値する取り組みであった。

後期議員研修（7人）…………… 担い手確保

農業・農村政策と移住・定住政策を地域づくりに生かす

平成28年7月28日から29日

農林水産省とふるさと回帰支援センターにおいて、今後の農業・農村政策と現在の移住・定住状況について研修を行った。

今後の農業・農村政策を研究し、有効に利活用しながら、移住・定住政策や空き家活用等の地方政策を複合的に組み合わせ、本町の大きな課題である農業や地域の担い手確保へ向けて、可能性を感じられる研修であった。



回帰センターの山形コーナー

議会広報研修

議会の雰囲気紙面に

平成28年8月23日から24日



廃校利用の議場にて

福島県只見町議会において広報誌の発行全般に関する研修を行った。

広報誌発行のスケジュールの中で、記事に審議の雰囲気を出せるように、その日の議会が終了した後に委員会を開催し、審議の内容を振り返り、原稿の原案を検討しているとのこと。

より多くの町民に議会の雰囲気を感じてもらい、読んでもらうことを意識した取り組みは非常に参考になった。